

あおぞら21



過年度未議決議案を含む23件を可決(7月会議)… 2
議会報告会開催 …………… 6

表紙：一番山車を引く商工会長と御船高校生(第45回御船があっば祭り)(8月12日)

1月定例会

30年8月31日

No.131

熊本・みどり町議会

過年度末議決議案を含む23件を可決

7月会議を7月12日に開催した。

過年度末議決議案15件、これに伴う町長等の給与の特例に関する条例や工事請負変更契約などの議案23件を審議採決した。

※過年度末議決議案…町が行う下記のような契約及び財産の取得や処分については、議会の議決が必要である。しかし、当時、議会の議決を得ていなかったため、改めて議会の議決を求める議案のこと。

- ① 予定価格700万円以上の不動産又は動産の買入れ若しくは売り払い（土地については、1件5,000㎡以上のものに限る）
- ② 予定価格4,000万円以上の工事又は製造の請負契約
- ③ 議会の議決を得た請負契約において、契約額の10分の1を超える変更契約（変更額又は変更額の累計額が400万円を超える場合）

7月議会で決まったこと（7月12日）

議案 号数	簡易議案名	概 要	質疑・討論 の有無	採決 結果
議案 22	財産の取得について	小型動力ポンプ積載車の購入 ※過年度末議決議案	有	全会一致で 可決
議案 23	工事請負契約の締結について	九州横断道（嘉島～山都）上野 IC 設置工事 ※過年度末議決議案	有	全会一致で 可決
議案 24	工事請負変更契約の締結について	九州横断道（嘉島～山都）上野 IC 設置工事 ※過年度末議決議案	無	全会一致で 可決
議案 25	工事請負契約の締結について	八竜橋橋梁災害復旧工事（下部工） ※過年度末議決議案	無	全会一致で 可決
議案 26	工事請負変更契約の締結について	八竜橋橋梁災害復旧工事（下部工） ※過年度末議決議案	無	全会一致で 可決
議案 27	工事請負変更契約の締結について	吉無田高原緑の村キャンプ場 宿泊施設整備工事 ※過年度末議決議案	無	全会一致で 可決
議案 28	財産の取得について	小型動力ポンプの購入 ※過年度末議決議案	無	全会一致で 可決
議案 29	工事請負契約の締結について	九州横断道（嘉島～山都）上野 IC 設置工事（受託合併工事） ※過年度末議決議案	無	全会一致で 可決

議案 30	工事請負変更契約の締結について	九州横断道（嘉島～山都）上野 IC 設置工事（受託合併工事） ※過年度未議決議案	無	全会一致で 可決
議案 31	財産の取得について	給食センター給食用物品の購入 ※過年度未議決議案	無	全会一致で 可決
議案 32	財産の取得について	給食センター給食運搬車両の購入 ※過年度未議決議案	無	全会一致で 可決
議案 33	財産の取得にかかる変更について	給食センター給食運搬車両の購入 ※過年度未議決議案	有	全会一致で 可決
議案 34	財産の取得について	恐竜博物館新館備品の購入 ※過年度未議決議案	無	全会一致で 可決
議案 35	財産の取得にかかる変更について	恐竜博物館新館備品の購入 ※過年度未議決議案	無	全会一致で 可決
議案 36	財産の取得について	防災行政無線（移動系無線機）の購入 ※過年度未議決議案	有	賛成多数で 可決 清水議員 採決棄権
議案 37	財産の取得について	小型動力ポンプ積載車の購入	有	全会一致で 可決
議案 38	工事請負変更契約の締結について	フジワ団地地区宅地耐震化推進活動 崩落対策施設（その1）工事	無	全会一致で 可決
議案 39	工事請負変更契約の締結について	災害関連地域防災がけ崩れ対策（陣①） 工事	有	反対者 岩永議員 田上議員 沖議員 井本議員
議案 40	工事請負変更契約の締結について	町道滝川橋線（滝川橋）橋梁災害復旧 工事	有	反対者 岩永議員 田上議員
議案 41	工事請負変更契約の締結について	町道八竜陣線（本線）八竜橋橋梁災害 復旧工事（上部工）	有	反対者 岩永議員 田上議員
議案 42	御船町地域防災計画の一部改正に ついて	御船町地域防災計画の一部改正	有	全会一致で 可決
議案 43	御船町長等の給与の特例に関する 条例の制定について	御船町長等の給料を減額するための条 例制定	有	全会一致で 可決
同意 2	御船町教育長の任命について	御船町教育長の任命	有	全会一致で 可決

過年度未議決議案に各議員議論集中！

（議案第22号から、議案第36号まで15件を一括議題）

未議決議案一覧（年度ごと）

年度	件数
平成21年度	1件
平成25年度	2件
平成28年度	6件
平成29年度	6件
合計	15件

吉本総務課長 過年度分の未議決議案15件を提出することになり、職員として深く反省し、お詫びを申し上げたい。

議案提出がなぜ遅れたのか

田上議員 提出がなぜ今日になったのか。

吉本課長 新聞報道にあるとおり、他自治体において未議決案件の問題が発覚し、御船町においても、過年度分について調査を行った結果、15件の案件が出てきた。

田上議員 調査した結果というのはわかるが、なぜそのときに議案として上げなかったのか。

吉本課長 消防積載車等の動産の買い入れについては、2台購入していたが1台の金額が、700万円を超えていないからと判断した。

田上議員 担当者が起案して、係長、課長、副町長、町長と上がっていくと思うがどうしてすべて漏れていたのか。

吉本課長 議決案件としての認識がなく、チェック機能が働かなかった。

藤木町長 車は1台の単価が700万円以上と判断し、工事請負については、九州地方整備局に委託し、御船町で入札等をしなかったのが、認識の誤りがあった。

田上議員 再発防止策は考えているか。

吉本課長 リスクマネジメントが機能していなかったということを踏まえ、日頃からリスクマネジメントを念頭に置きながら事務を進めていくことを意識統一した。

また、機会を捉え講師等を招いての研修も併せて行っていく。

沖議員 これを機に執行部はしっかり勉強してほしい。

藤木町長 職員の指導を行い、法令遵守に努めていく。

物品購入、工事請負契約のフローは

中城議員 自主的に調査し新聞公表されたとはいえ、条例違反、議会軽視と言わざるを得ない。現状、物品購入や工事請負契約の流れはどのようになっているか。

吉本課長 まず予算の確保、その年度で予定している事業については指名競争入札で業者を決定し、議決案件であれば仮契約書の作成、その後議会の議決を経て本契約、発注となる。

中城議員 議会の議決を必要としない契約はどうしているか。

吉本課長 契約案件については、すべて町長の決裁を受ける。

中城議員 議会議決の有無については担当部署でちゃんと

チェックしないと漏れが発生すると思うが。

吉本課長 まず担当者が、議決案件かどうかをチェックし、担当者から係長、課長、最後に町長の決裁を受ける流れが当然だと思っている。

内部統制システムは機能しているか

中城議員 このようなミスを防止するため、企業では内部統制システムで業務処理を全てマニュアル化しているが、行政の内部統制システムはないのか。

吉本課長 誰かがどこかで気付けば防げたことだと思う。内部統制機能を働かせて再発防止に努めたい。

研修成果は上がっているか

岩永議員 7月7日の新聞記事で、ある町の執行部が職務能力の低下やチェック体制が不備と自ら言っていることにショックを受けた。研修をやっていると思うが、効果はあがっているか。

藤木町長 最近、地方自治体において職務能力の低下が問題視されているが、御船町では職員の研修成果は上がっていると思う。成果が発揮できるような職場環境に努めていく。

本田副町長 今回の件については、町政トップはじめ関係職員の懲戒処分を検討している。

法令遵守の研修はどうか

森田議員 この案件は、大津町の新聞記事を見て、その後の全員協議会で御船町は大丈夫かということを質問した。



積載車上の小型動力ポンプ



出初式で炊き出しを行う女性消防隊

執行部が調査して15件が発覚したが、議会としても反省すべき点はあると思う。役場では法令遵守、コンプライアンス研修はやっているか。

吉本課長 地方公務員法に研修の機会を与えなければならない記載がある。今後も続けていきたい。

森田議員 再発防止について具体的取り組みは。

野口建設課長 今の災害復旧工事関係は、契約が多岐にわたっているので、担当職員が契約行為を起こす段階で、これが議決案件なのかどうかを、その起案書の中に書き込ませる等の対応を行い、漏れがないよう努めていく。

議案第37号 小型動力ポンプ積載車の取得について

沖議員 今、消防団の統廃合が議論されているが、積載車は適正に配備されているか。

吉本課長 各班の必要台数に応じて適正配置に努めていく。

森田議員 今度の2台のポンプは操法用のポンプか。

吉本課長 小型動力ポンプは積載車の分を購入予定。

女性消防隊の小型動力ポンプは

沖議員 役場の女性消防隊にもポンプを常備するといったが、いつ買うのか。

吉本課長 入札の準備をしている。

沖議員 女性消防隊が火災現

場に行くと考えているのか、予防消防に徹すればよいと思うが。

吉本課長 役場の女性消防隊は、火災現場に出動することはないと私も考えている。ただ意識を持ってもらうため、女性消防隊用に購入する予定のポンプは馬力の低いものを考えている。

消防団の統廃合は

沖議員 消防団の分団・班統廃合の進捗状況は。

吉本課長 具体化していないが、今後も地域の方々の知恵を拝借しながら、課題として進めていきたい。

議会報告会開催

毎年開催している議会報告会を5月26日に開催した。場所は役場大会議室（平坦地区）と上野保育園（中山間地区）の2ヶ所。参加者は合計58人であった。

議会報告会での質問や答弁、その後の執行部回答については以下のとおり。

■ 議会報告会（上野保育園） A班（参加者23人）



質問する参加者（中山間地区：上野保育園）

	質疑内容	議会回答（当日）	執行部回答
1	先日、災害復興特別委員会で農地、水路等現地調査をされたがその後の結果について伺いたい。また工事の進捗状況はどうなっているのか。	現地調査後、協議を行った。担当課の農業振興課より回答があるが、今後詳細について確認する。	（農業振興課） ・水越五ヶ瀬地区 河川については、平成30年度内に完工。 農地・農道については復興基金事業にて一部対応。その他補助対象の被災箇所については災害復旧事業での対応とし、9月中には発注を終えたいと考えている。

	質疑内容	議会回答（当日）	執行部回答
1			・島木地区取水口及び用水路 現在、熊本県、山都町、御船町で三者協定を締結し、熊本県（上益城振興局）が工事発注を行う予定。 ・松の生・向山地区水路災害 工事申請のあった2件について完工している。 その他については、松向水利組合による自力復旧済み。 ・東上野地区農地災害及び用水路は6本中、3本が竣工済み、1本が30年9月中旬竣工予定、2本が31年3月下旬竣工予定。 ・工事については施工業者に対して、早急な着工等を今後とも要請していく。 ・古閑迫地区 農地災害復旧工事にて完工。 補助対象以外は、農地等自力復旧事業にて対応予定。 ・農地災害全般 今後の農業用施設・農地災害復旧については、9月中には発注を終えたいと考えている。
2	一般廃棄物処理施設建設予定地が御船町内に決まったと聞いたが、詳細についてお尋ねしたい。 また、選定から漏れた3箇所15ha(5ha×3)の今後の土地利用法を考えているか。	平成27年度から5町1村からなる熊本中央一般廃棄物処理施設整備促進協議会が発足した。公募したところ10箇所の応募（うち御船町から4箇所）があり、最終的に古閑迫・古閑原地区が選定された。 選定から漏れた3箇所については応募いただき感謝している。議会としても中山間地域の活性化について地域創生、災害復興の面からも重要な問題として取り組んでいく。	（環境保全課・企画財政課） ※建設予定地について 熊本中央一般廃棄物処理施設整備促進協議会より、平成29年7月に募集された建設候補地に対し、公募5地区及び組合・町推薦5地区の計10地区の中から、候補地評価委員会の答申を踏まえ、協議会において、「古閑迫・古閑原地区」を最終建設候補地として決定された。 今後は、地元での事業内容等の説明会を経て、速やかに用地取得に取り掛かる予定。 ※選定から漏れた3箇所の今後について

	質疑内容	議会回答（当日）	執行部回答
2			3 地区（日向地区、吹野・釜出地区、南田代第4地区）の土地活用法については、町の関係各課と今後協議を進めていく。
3	議員の義援金の収支報告は行われたのか。また、不適切ではないのか。	議員の義援金問題では昨年2回の辞職勧告を行った。今後は議員個人で判断してほしい。	
4	議会報告会は議員主体と聴いているがなぜ欠席議員がいるのか。	各欠席議員については身内の不幸、病気入院中のため欠席届が出ている。	
5	4月にオープンした緑の村のドームキャビンについて今後町はどのように考えているのか。また、地元住民はあまり知らないのではないか。	4月29日にオープンセレモニーがあり議員も出席した。当日は約1,000人の来客があった。今後は地元の方に周知を行い、地域の活性化のためにも町、地元住民が共に取り組んで行くことが必要であると思う。今後の運営、体制、集客力、採算性について6月議会で一般質問をする予定でいるので、結果については議会広報誌に掲載する。	（商工観光課） ※今後の運営計画について 経営計画の基本的な考え方として、入村者及び施設利用増に併せて、恒常的な運営経費を見直ししながら繰入金の抑制を図り経営改善を行う。 現在、宿泊者への地元食材の提供を上田代ばあば会に依頼し運用を開始しており、地元農業と連携したイベントで、新たな雇用創出と経済効果につなげたい。 また、民間の経営ノウハウを生かし、ベストのタイミングで指定管理者への移行を考えている。 今後、アウトドア志向のキャンパーに対応した経営改善を図っていく。 具体的に、①星の森ヴィラを核とした、ライトユーザーの取り込み。②老朽化トイレの整備による、利便性向上とイメージアップ。③県内小中学校のキャンプ等野外活動の誘致。④星空体験やトレッキングなどの各種

	質疑内容	議会回答（当日）	執行部回答
5			組織と連携した体験メニューの展開、大会誘致を行っていく。
6	古閑迫に建設予定の災害公営住宅建設はどうなっているのか。	古閑迫に建設予定の災害公営住宅は、都市再生機構による買取り方式となり4月議会で坪単価が高いと議会より質疑を行い、詳細な説明が必要なことから町執行部が議案の撤回をした。その後、都市再生機構から全員協議会で説明を受け、5月の議会で再提案され可決された。設計価格は約101万円だが、県内すべて災害公営住宅の坪単価は100万円を超えている。東日本大震災の状況を踏まえ、今後の人員不足、材料の高騰の可能性を見込んで概算費用146万円で計上してある。入居開始は来年の5月あたりを目安としている。	(建設課) ※今後の計画について。 古閑迫地区に木造戸建住宅10戸の整備を独立行政法人都市再生機構による買取り方式にて進めている。これまでの経緯等については左記議会回答のとおり。今後6月中旬に宅地造成工事に着手し、10月から住宅建設工事に入る予定であり、平成31年5月完成を目指していく。
7	昨年、上野インター（仮称）設置に伴う中山間地域振興について陳情をし、採択していただいた。町、議会、地元住民と協議をしながら、道路改良については県へ要望を行っていくとの回答があっているがその後の状況は。	執行部に確認する。	(企画財政課・建設課) ※その後について 【建設課】 県道改良について、以前から熊本県への単県事業要望で、宮ノ本地区からの県道益城矢部線道路拡張について継続的に要望している。特に、昨年度は、上野インター開通に向け要望順位を上げて対応している。 【企画財政課】 上野インター（仮称）周辺の具体的活用策について、遊休施設等の調査と課題整理に着手しており、今後、地域住民との意見交換の場を設けながら、土地利用と廃校施設の活用に向けた検討を進めていく。

	質疑内容	議会回答（当日）	執行部回答
7			また、平成29年度に宿泊施設である「星の森ヴィラ」の整備を行い、化石発掘体験と連携することで新たな人の流れを考えている。地元食材提供や農産物の販売等について、吉無田地域で活動する団体や地元農家と受入体制について協議をしている。
8	中山間地域振興のため協議会の設置の計画予定はあるか。企業アドバイザーを地域で活用できるのか。	活性化協議会は現在町にはない。今後町にも提案していきたい。 企業誘致アドバイザーは主に法律、制度、調査など町へのアドバイスが主な委託内容であり、先日行われた大型商業施設の地元説明会でも質疑回答までアドバイザーが主に行った。 町づくりアドバイザーなども含めて議会で協議を行っていきたい。	（企画財政課） 町として、条例・規則等で協議会の設置を規定しているものはない。 ただし、旧小学校区単位で地域づくり団体として任意に活性化協議会を立ち上げている地域はある。 企業誘致アドバイザーは、戦略的な企業誘致を円滑に進めるために導入している。特に、インターチェンジを中心とした地域振興に資する拠点形成等を推進するための助言や支援をいただいている。 地域での活用は、趣旨や内容を踏まえて、検討させていただきたい。
9	放置竹林の問題はどのように考えているか。 また竹の工芸品、商品化について活動されている方から指導をいただきたい。	玉名郡南関町にバイオマスの会社があるが、現在は近隣の竹林でまかなっている。放置竹林は町全体の問題として検討していく必要がある。 工芸品については山都町や御船町で製作されている方を紹介する。	（農業振興課） 県事業の竹林整備事業（3戸以上の団体）を推進している。 平成29年度においては、2団体が取組んだ。 また、森林・山村多面的機能発揮対策交付金等を活用し、里山林保全に取り組む活動組織を支援していく。
10	高齢化に伴う農地の耕作放棄地について対策はあるのか。	集団転作でJ A・町では大豆栽培をすすめている。またキク	（農業振興課・企画財政課） 【農業振興課】

	質疑内容	議会回答（当日）	執行部回答
10		イモの栽培が個人で少しずつ始まっている。 先日、地域おこし協力隊とあおぞら会議を行ったが、中山間地に住んでいる若者もおられる。この事業は町の負担はないので、受入れ団体等地域で検討していただきたい。	J Aと市場と連携し、水稻の作付ができない集落を始めとして、高齢者の方でも栽培できる、ほうれん草（加工用・秋冬作）の栽培を推進する。 【企画財政課】 地域おこし協力隊の導入の方針として、①協力隊の受け入れ体制が整っている団体等であること ②団体、地域の事業推進が地域づくり及びまちづくりに貢献するものであること ③地域おこし協力隊員の活動外のサポートができることとしている。地域おこし協力隊の受け入れ要望等があれば、町へ相談していただきたい。
11	国道445号線の迂回路として利用していたマミコウロード滝尾～古閑原まで、改修が十分ではないので今後、改修してもらえるのか。	まだ、県での改修が可能なのか執行部に確認する。	（農業振興課） ※今後の計画について マミコウロードは、県営事業で作られ、益城町、御船町、甲佐町へそれぞれ譲与されている。国道の迂回路として利用していた区間は、舗装補修を熊本県へお願いし補修していただいた。今後は予算措置した上での御船町での補修となる。
12	嘱託区再編について議会としての見解を伺いたい。また水越で4月から嘱託区が再編されたが、メリットについてお尋ねしたい。 また、財政的メリットはあるのか。	水越中央区は4月に、スタートしたばかりなのでメリットは今後見えてくるものがあると思うが、高齢化が進む中で、役員の選任の解消、草刈作業など協同でできることなどがある。地域それぞれの行事は今後も行っていく予定である。 嘱託区再編は山間だけでなく、	（企画財政課） ※再編についてのスケジュールや財政的援助について。 嘱託区再編案については、85嘱託区を52嘱託区にする方針であることを昨年度嘱託員会に報告した。 財政的な支援としては、再編に向けた協議に要する費用を年

	質疑内容	議会回答（当日）	執行部回答
12		平坦でも重大な課題であると議会でも捉えている。	額6万円を最大2年間、再編後の嘱託区の事業に対し年額20万円を最大3年間交付金として交付する。

■ 議会報告会（大会議室） B班（参加者35人）



答弁の様子（平坦地区：大会議室）

	質疑内容	議会回答（当日）	執行部回答
1	田上議員の義援金問題はその後どうなっているか。 問題発覚から2年以上経過しているが、その後の報告が当該議員からないのはなぜか。	議会において、田上議員に対して2度の辞職勧告を行っている。しかし、議会は調査機関ではないため、それ以上の対応はできない。 司法の場に判断を委ねなければ、解決には至らないと考える。	

	質疑内容	議会回答（当日）	執行部回答
2	災害公営住宅の坪単価146万円での買取りは高いのではないか。	災害公営住宅の建設は早急に行われるべきであるが、坪単価が高いのではないかと議論になった。4月議会では、議案を一度取り下げ、執行部から詳細な説明を受けた。坪単価146万円というのは、高騰する資材費、人件費等を見込んで余裕を持った計算に基づくものである。完成後の最終的な坪単価は101万円程度を見込んでいるとのことだった。さらに、国の補助が4分の3程度と聞いている。そのため、再度5月議会において、議案を提出し、可決している。	(建設課) ※これまでの経緯と今後の計画 (A班 質疑内容6と同回答) 今後は民間事業者の持つ専門性、ノウハウ活用による工期短縮、コスト低減提案が期待でき、併せて県からの技術支援を受けられることから民間買取り型方式を採用する予定。
3	議会広報紙にも掲載があったが、町議会議員において、契約における付度があったのか。	付度については全くない。	
4	町道の修復が進まないのを、維持管理における予算を見直すべきではないか。	執行部に伝える。	(建設課) ※今後の計画 町道の災害復旧の進捗状況を踏まえながら、維持管理費の適切な予算計上を行っていく。
5	町広報紙が発行されているが、回覧文書等を別で出さず、広報紙に掲載すべき。	執行部に伝える。	(総務課) ※今後の発行方針 ご指摘のとおり、情報の一元集約化の観点からすれば町広報誌へ全ての行政情報が掲載できれば、それが理想的であると考えられる。しかし、町広報誌作成業務と情報を発信する時期が合致しない場合、あるいは、町広報誌掲載では情報周知に時期を失ってしまうことが想定される。このような状況を踏まえ、情報の緊急性及び重要性の観点から回覧文書等にて町民の方へ直接周知徹底している状況にある。

	質疑内容	議会回答（当日）	執行部回答
6	公立施設の運営に係る、収支のバランスは取れているのか。	執行部に伝える。	（企画財政課） ※現在の状況と今後の見通し 公共施設については住民福祉の向上を目的に建設されたものであり、収支のバランスはとれていないのが現状。今後、公共施設管理計画個別計画策定の中で施設のあり方や活用方法等も含めた方向性について協議していきたいと考えている。
7	町の予算や決算状況をわかりやすく公表してほしい。	執行部に伝える。	（企画財政課） ※公表状況 予算や決算については広報みふねや町ホームページ等を活用してできるだけ分かりやすく公表しているところであるが、これまで以上に住民に分かりやすい表現や様式等を工夫していきたい。
8	益城町のテクノ仮設団地内にある、くまもと型復興モデル住宅を視察されたか。 その住宅と比較すると、今回の災害公営住宅は高いと思う。	ご指摘のモデル住宅については、視察はしていない。本日はただいたご意見を今後の議会活動に生かしていく。 執行部においても、今後は、民間買取り方式等を視野に入れ、なるべく安価にできるよう協議をしている。	（建設課） ※今後の計画 今後は民間事業者の持つ専門性、ノウハウ活用による工期短縮、コスト低減提案が期待できる、民間買取り型方式を採用する予定。
9	熊本地震および豪雨災害による農地災害において、当初、補助対象として取り扱われず、補助を受けられなかった農地の取り扱いはどうなっているか。	県等と協議を行い、当初同様の補助が受けられるよう調整済みである。	（農業振興課） ※現在の状況 平成28年の地震等災害において補助を受けられなかった農地については、平成29年の広報みふね12月号にも掲載して、周知に努めている。 周知で判明したものについては、町で工事する計画で平成28年の災害と同様の受益者負担となるよう町で調整している。

	質疑内容	議会回答（当日）	執行部回答
10	上記の件について、当初と同様の補助が受けられるにしても、その補助金は町の予算で負担しているのではないのか。	県の復興基金事業を活用し、対応している。 詳細については、執行部に確認する。	（農業振興課） ※復興基金の配分等 農業用施設については、起債充当による対応、農地については復興基金（創意工夫分）を充当することとしている。
11	新聞報道でコストコ進出の話題が上がっている。 御船町に誘致が進んでいることについてうれしく思う。 企業側および地権者への優遇措置等を検討し、誘致を成功させていただきたい。	現在、地権者への説明会を終えており、今後は開発行為等にかかる様々な許認可を得ながら誘致を進めていく。 また、企業進出によって考えられる様々な影響を考慮し、町としてどういった対応を行っていくかを執行部と共に検討していきたい。 また、町民の皆さまからご提案等があれば、是非お知恵をいただきたい。	（企画財政課） ※現在の状況と今後の計画 町では、コストコホールセールジャパン(株)の誘致に向けて交渉を進めている。しかし、様々な課題や法規制への対応が必要となるため、町としては、関係機関との十分な協議やインフラ整備に取り組みながら、誘致の実現を目指していきたい。
12	町の人口が減少している中、役場職員の採用人数が、今年度は十数名いると聞いた。 しかし、応募の条件に、御船町の住民という規定がなかったことに驚いている。	議会でも話題になったが、今年度採用者にも御船町出身者は数名いた。町出身者がいると、議員としても力になる。今後、町出身者が受験したくなるような役場づくりを目指す。	（総務課） ※今後の方針等 地方公務員法の平等公開及び成績主義の原則により、住所要件は設定していない。 しかしながら、御船町在住の受験者が増えるよう、魅力ある職場づくりに努めるとともに、広報紙などを通じた町の情報発信にも力を入れていきたい。
13	スポーツセンターのプールの利用規程はどうなっているのか。以前、プールを利用した際に、一般客のレーンが減らされたことがあった。町民が優先の規程になっていないのか。	指定管理者として、YMCAが運営しているので、町が運営していた頃と利用規程に変更がないかの確認をする。 また、町民の利用者が不利益を被るようなことがないよう、相談をしていく。	（社会教育課） ※運営の状況および今後の対策 プール利用については、町が運営していた頃から現在まで、一般利用者に3コースは最低限確保するように、水泳部などの団体利用者とも調整している。ただし、その時の利用状況によって、プールのレーン調整を利用者へ直接相談している場合がある。

	質疑内容	議会回答（当日）	執行部回答
13			町が運営していた頃も、町民が優先される規定にはなっていないが、意見を聞きながら、町民の利用者が不利益を被ることがないように運営を進めていく。
14	プール内の床、壁、レーン等の汚れが目立つ。	現地確認を行い、この意見をお伝えする。	（社会教育課） ※現在の状況と今後の計画 床や壁の汚れについては、20数年の月日を経ることで汚れが石化し洗剤等では除去できない状態だが、毎朝の清掃で床磨きを実施し清潔な状態を保つように定期的に清掃をしている。
15	妙見坂トンネル内の照明が暗い。この道路は、国道であり、その管理を県に委託しているため、国と県にお願いはしているが、御船町内にあるので、議員の皆さんにも対応をお願いしたい。	今後、陳情を行っていく。	（建設課） ※現在の状況 6月中に県でトンネル内の照度確認調査作業を実施される。 その結果に基づき、照度調整を行っていくとのこと。
16	仮設住宅に住む一人暮らしの高齢者のことで役場の窓口相談に行っても、担当者が変われば引継が来ていないし、その後の回答がなかなか帰ってこない。	執行部と協議をしながら、担当部署を明確にし、しっかり対応できるように務める。	（福祉課） ※現在の状況と今後の対策 要援護者が災害公営住宅へ移動しても信頼できる専門機関や支援者とつながっているように支援している。 窓口への相談については、しっかり対応できるよう努める。
17	中原団地の復旧工事完成時期やその後の説明等、今後のスケジュールを明確に伝えてほしい。	当初は、今年度の夏ごろに完成を予定していたが、県および町の工事も入っており、町からは11月頃完成予定と報告を受けている。	（建設課） ※今後の計画 今後の中原団地復旧工事については、建築・外構・機械設備工事が9月末で終了するが、大規模盛土滑動崩落防止工事が10月末、県発注の急傾斜地崩壊対策工事と被災した住宅の家屋解体工事が来年3月末に完了予定である。

	質疑内容	議会回答（当日）	執行部回答
17			11月中に避難勧告解除を行い、年内帰還の手続きを行う予定である。
18	中原団地内の108戸中27戸が解体されるが、残る81戸の建物の安全性は大丈夫なのか。 3階建てコンクリート造の建物もあるので、地盤は大丈夫か。	改修が必要なものについては、改修を行うので、心配は要らないと思う。 地盤についても、各種事業において整備が行われることと思うので大丈夫と考える。	（建設課） ※今後の計画 地震直後に被災状況調査を専門の資格を有する業者に依頼し、棟ごとの被災度を勘案し判断している。現在、残す住宅の安全性確保に向けた復旧工事を実施しているところである。
19	議会のホームページにおいて、一般質問の動画配信ができていないので配信をしてほしい。 議事録も平成29年9月までしか掲載されていないので最新の情報を掲載してほしい。 政務活動費の使い道についても、ホームページ上で公開してほしい。	速やかに対応する。	
20	平成29年10月に町長と役場職員が今城地区に来られて、復興計画の原案を作成するとの報告があったが、現在の進捗状況はどうなっているのか。	執行部に確認し、回答する。	（企画財政課） ※現在の状況と今後の計画 平成29年3月に「御船町震災復興計画」を策定している。現在、復興計画に基づき、復旧事業を主に実施している状況である。
21	コストコの誘致において以下のような課題が考えられる。 ①進出予定地は、農振地域と思われるが農振解除は可能なのか。 ②矢形川が側を流れているが、遊水池が必要になるのではないか。 ③交通量の増加が見込まれるこ	①③④農振地域の解除を含め、様々な許認可を得るために、まず、都市計画マスタープランの見直しを行うようにしている。その中には、交通量の調査を行い、御船町の用途地域を見直すことなど、課題解決に向けての対応が盛り込まれているということなので、今後とも町民の皆	（企画財政課） ※今後の計画 ①農用地区域の除外は、都市計画の見直しを視野に、他法令の許可の中で、調整を進めていく。 ②雨水対策は、事業者側が開発行為の手続きで調整池を設置して対応することになる。また、

	質疑内容	議会回答（当日）	執行部回答
21	とから、新しい道路が必要になるのではないかな。 ④近隣自治体の許可が必要になるのではないかな。 この課題をクリアして実現可能かどうか説明をいただきたい。	さまのご理解とご協力をいただきたい。 ②加勢川の改修が進まないと、矢形川まで進まないと国土交通省の話聞いた。今回の企業誘致における矢形川改修の重要性を認識し、要望活動に取り組む。	町では、加勢川改修促進期成会に加盟して、加勢川と矢形川の改修に向けた要望活動を国や県に対して行っている。今後も、要望活動を継続して取り組んでいく。 ③道路管理者（県）や交通管理者（警察、ネクスコ）と、具体的な道路改良を協議していく。 ④交通量調査を実施して、周辺市町への影響による広域調整を視野に、協議を行っていく。
22	恐竜博物館の赤字が続いているが、今後の対応はどうするか。	博物館単体で収益を上げるのは厳しい。今後は、来館者を町内にとどめておけるような施策が必要になる。	（社会教育課） ※今後の計画 博物館は研究・教育機関であり、社会から託された資料を次世代へ継承することを使命とした施設である。 今後はさらに発信力を高めるために、研究機能の充実を図り、海外機関との連携も図りながら、魅力ある展示・教育コンテンツを提供し続け、本町の交流人口の拡大に寄与することが変わらぬ使命だと理解する。
23	地方創生事業での補助金の使い方については慎重に行ってほしい。	事業の取り組みを工夫し、結果につなげる。 地域おこし協力隊が6名、町内におられるので、その後も町内で活躍してもらえるような取り組みを行う。	（企画財政課） ※現在の状況と今後の見通し 御船町の特性に合い、自主的・主体的な成果につながる事業を今後も検討していく。

7月の議会活動

月日	項 目	参加者	場所等
1日	宮部兄弟慰霊祭	田端議長 岩田議員 井本議員 岩永議員	七滝中央小体育館
2日	議会運営委員会	委員	委員会室
3日	災害復興支援特別委員会	全議員	審議会室
	産業厚生常任委員会	委員	審議会室
5日	宮城県黒川地方町村議会議長会視察受入れ	総務文教常任委員	審議会室
6日	全員協議会	全議員	審議会室
	議会広報編集特別委員会	委員	議員控室
9日	正副議長・常任委員長・議運委員長研修（県議長会主催）	正副議長、各委員長	グランメッセ
11日	九州中央自動車道沿線議会期成会総会・決起大会	全議員	高千穂町
12日	7月議会	全議員	
13日	恐竜博物館特別展オープン記念式典	田端議長 清水副議長 藤川総務文教常任委員長	恐竜博物館
17日	第2回熊本中央一般廃棄物処理施設整備促進協議会	協議会議員	協議会事務所
18日 ～ 20日	県選出国議員等要望活動	議員11名	
23日	上益城地域振興局要望活動	田端議長 清水副議長 岩田議員 井本議員	上益城地域振興局
24日	産業厚生常任委員会	委員	審議会室
	福岡県上毛町議会視察受入れ	産業厚生常任委員	審議会室
	議会広報編集特別委員会	委員	議員控室
25日 ～ 26日	熊本中央一般廃棄物処理施設整備促進協議会 先進地視察研修	田端議長 井本議員 岩田議員	奈良県
28日	上益城郡消防大会	田端議長 岩田議員 森田議員 井本議員	甲佐町
30日	議会運営委員会	委員	審議会室
31日	国道443号整備促進期成会総会	田端議長	熊本テルサ

かがやく



甘木 芥川 裕章さん
(御船町消防団 第8分団第4班 班長)

共に生きる

私は現在、御船町消防団に入団し7年目、第8分団第4班（高木・甘木）班長を務めています。これまで訓練、点検、火災、風水害時の出動を経験してきました。

その中でも、熊本地震の経験は忘れることができません。当時、私は副班長で地震発生直後は班長の指揮の下、甘木区全軒の方の安否確認を班員と手分けして行いました。その際、倒壊した外壁などが道路を塞ぎ、ガスの臭いも充満していました。これまで感じたことのない強い危機感、恐怖心がありました。それは、火災が発生しても消火活動が困難であることが明らかだったからです。

幸い火災は無かったものの、夜が明けてからは道路を塞ぐがれきを撤去しライフラインの整備に従事しました。しかし、人力ではどうにもな

らない箇所もありました。そのような中で、近隣の数人の方が重機に乗って駆けつけて下さいました。ご自身の家も被災されているのにも関わらず、重機を動かして、車両通行ができるように区の道路を整備していただきました。その中には私の家の前も含まれていました。涙が出るくらい嬉しかったです。

人はひとりでは生きては行けないと言いますが、近隣の方に支えられて生きていることを実感した出来事でした。また、そう思えるこの地域に住んでいることを私は幸せに思います。

現在、消防団員数は町全体でも私の住む区でも減少しています。地域、近隣の方と共に生きていく仲間が増えることを切に願っています。

議会の予定9月

- 2日 熊本県消防大会(山鹿市)
- 3日 恐竜博物館名誉館長就任式
御船町恐竜博物館開館
20周年及び名誉館長就任
祝賀会
- 4日 議会運営委員会
熊本中央一般廃棄物処理
施設整備促進協議会
- 10日 全員協議会
- 14日 金婚夫婦表彰式
- 13日～
21日 議会(予定)
- 25日～
27日 議会議員全員研修

編集後記

暦の上では立秋を過ぎ、秋になりましたが、毎日暑い日が続いています。熱中症も昨年よりも多いと聞いています。こまめな水分補給を行い、体調には十分気を付けてください。

夏休み期間中は、保育園の夏祭りや地区での夏祭りも開催されたようですが、「御船があーっぱ祭り」は、第45回という事で盛大に開催されました。

さて、「広報みふね」でご存知の方も多いと思いますが、9月2日に山鹿市で開催される「熊本県消防操法大会」に上益城郡代表で4分団(七滝)が出場する事になっています。21日夜に練習の応援に行ってきましたが、当日は台風19号の影響で、風が強くグラウンドの砂が舞う状態の中で、選手5人と応援15人での練習で

した。仕事後の練習で大変だと思いました。県の一斉指導では、ホース延長が非常に悪かったと聞いていましたが、この日はホース延長も良く、規律や共同動作も良く、特に問題はないように思えました。上位入賞ができるように応援をよろしく願います。

森田優二

議会広報編集特別委員会

発行責任者	田端 幸治
委員長	岩永 宏介
副委員長	中城 峯雄
委員	岩田 重成
委員	清水 聖
委員	田上 忍
委員	森田 優二